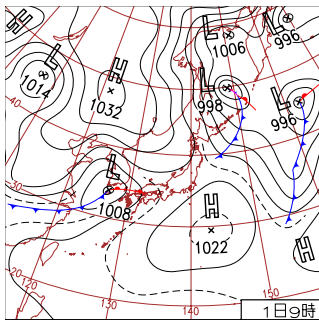


2010年 3月

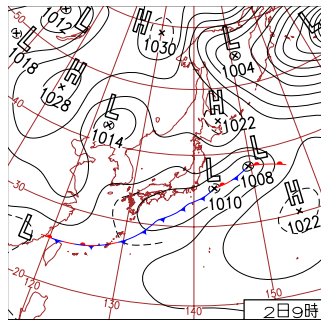
- ・北日本から西日本にかけては顕著な多雨で、全国9地点で3月の最大値を更新。
- ・10日、低気圧が急発達し、広い範囲で雪。青森県八戸市で日降雪量61cm。
- ・21日、前線と低気圧の影響で千葉県中央区で最大瞬間風速38.1m/s。

(気象庁予報部予報課)



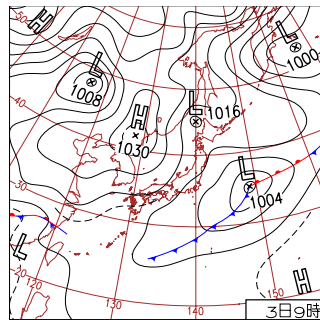
1日(月)九州で短時間大雨

黄海から東進する前線を伴った低気圧の接近で、九州で雷を伴った短時間大雨が降り、鹿児島県南大隅町で30.5mm/1hを観測。夜には西日本から東日本の広い範囲で雨となった。



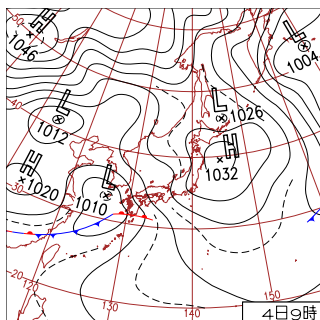
2日(火)北と南で温度差約50℃

日中は北日本と関東、北陸で冬、東海、西日本と沖縄で春～初夏の陽気。最低気温は石垣島で21.8℃、北海道幌加内町朱鞠内で-27.5℃、気温差約50℃。沖縄県粟国空港で60.5mm/1h。



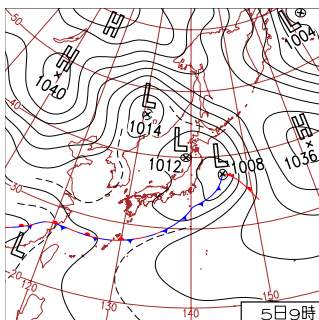
3日(水)高気圧に覆われる

本州付近は次第に高気圧に覆われ、天気は回復。北海道は低気圧の影響で所々雪。九州南部は、気圧の谷の接近で夜には雨が降り出した。



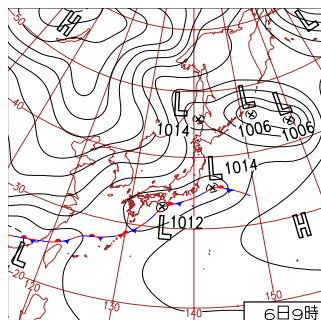
4日(木)西から天気崩れる

低気圧が本州沿いと日本海を通過し、北海道を除く全域で雨。日本海側で強風となり、福井県美浜で最大瞬間風速31.1m/s。長崎県では副振動で浸水害。



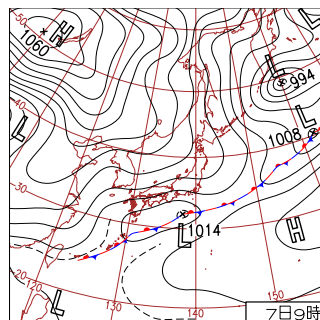
5日(金)つかの間の晴れ

日中は東海～関東甲信を中心に、太平洋側の地域で晴れて気温上昇。最高気温は、長野県南牧村野辺山で平年より18℃も高い20.1℃。夜には前線や低気圧の影響で西日本は雨。



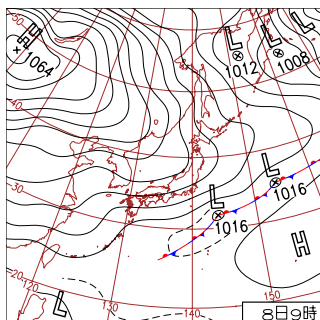
6日(土)関東地方は雨の「啓蟄」

南岸の前線上で低気圧が進み東日本～西日本にかけ雨。また、宗谷海峡の低気圧の影響で北海道でも雪と雨。気温は九州や南西諸島で高く、奄美市名瀬では27.8℃と6月上旬並。



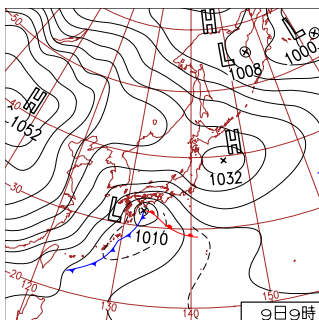
7日(日)日中、気温上がらず

太平洋南岸を低気圧が進み、西～東日本にかけ雨。北日本は冬型の気圧配置。寒気が入り、日中に気温が低下。広い範囲で、最高気温が2月並となった。



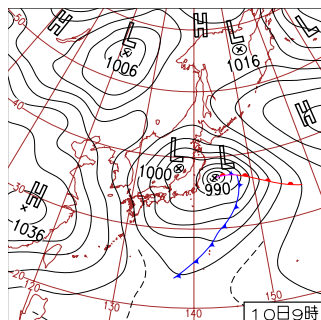
8日(月)日本付近は曇多め

高気圧が北に偏って張り出したため、西～東日本は曇りの多い天気。北日本では晴れた所もあるが、寒気が流れ込んで、最低気温、最高気温ともに真冬並の所も。



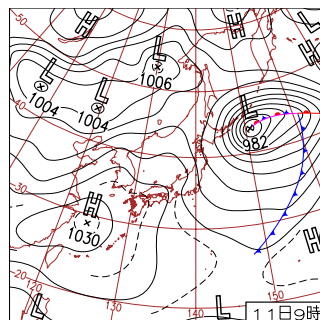
9日(火)中国地方で大雪

本州南岸を低気圧が進み、北日本の一部を除き雨や雪となった。西日本の大半と東日本では最高気温が最も寒い時期を下回る。岡山県真庭市上長田で日降雪量46cm。



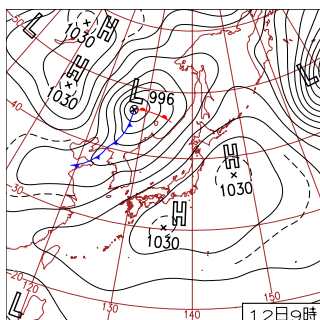
10日(水)東北太平洋側で大雪

三陸沖を低気圧が急発達して北上。全国的に大荒れとなり九州～北日本の広範囲で雪。青森県八戸で年間の極値更新の日降雪量61cm。高知市でサクラ開花。



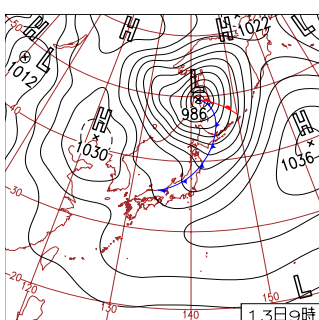
11日(木)西日本冷え込む

冬型の北陸～北海道ではじめ雨や雪が残ったが、高気圧に覆われ北陸～東北を除いて全国的に晴れ間が広がる。寒気の流れ込みで沖縄～九州では冷え込み、最低気温は真冬並に。



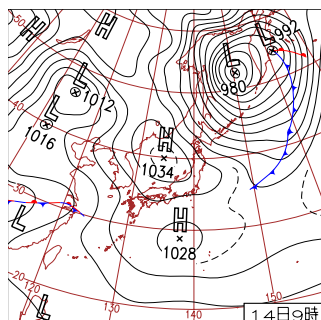
12日(金)春に戻る

ほぼ全国的に高気圧に覆われ晴れ間が広がった。高気圧の周辺を回り込む暖かい気流の影響で、各地で気温が上昇し、最高気温は4月中旬並のところも。



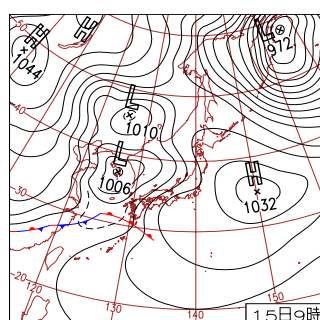
13日(土)北海道大荒れ

発達中の低気圧がサハリンを東進。暴風が吹き荒れた北海道根室で日最大瞬間風速32.2m/sを観測。南風が暖気を運び、水戸の最高気温は5月中旬並。山陰で今年初の黄砂観測。



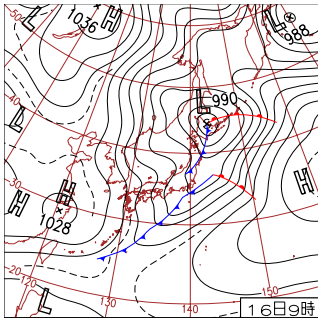
14日(日)福島県で震度5弱

北海道日本海側や南西諸島をのぞき、高気圧に覆われて概ね晴れ。最高気温は、4～5月並。福岡市、松山市でサクラ開花。西日本の数か所で黄砂を観測。

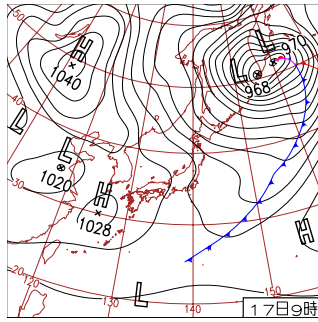


15日(月)西から下り坂

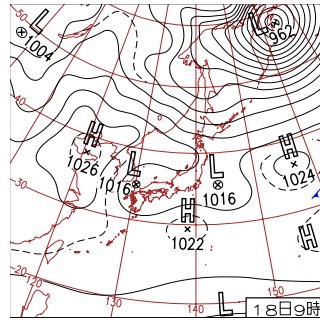
日本海と本州南岸を前線や低気圧が通過。暖かく湿った南風が強く、西日本の南岸で激しい雨や雷雨。北海道は雪。愛媛県伊方町瀬戸で最大瞬間風速32.6m/s。近畿で春一番。



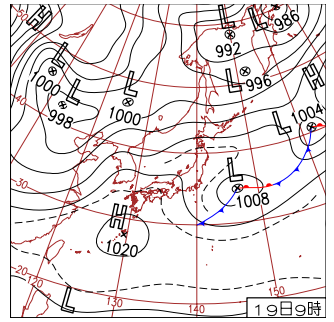
16日(火)西日本一帯で黄砂
 低気圧が発達しながら通過。北陸から北日本は雨や雪。東海や関東でも日中は晴れたが明け方まで雨。静岡市清水51.5mm/1hの非常に激しい雨。熊本市でサクラ開花。



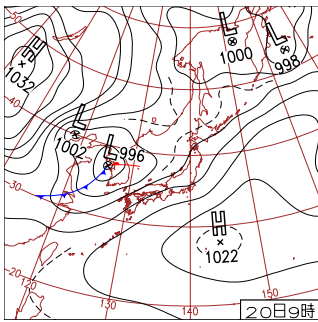
17日(水)桜前線、九州を北上
 冬型の気圧配置が次第にゆるみ、気温はほぼ平年並になる。和歌山、松山で黄砂を観測。太平洋側で晴れ間が広がり、宮崎市、大分市、静岡市でサクラ開花。



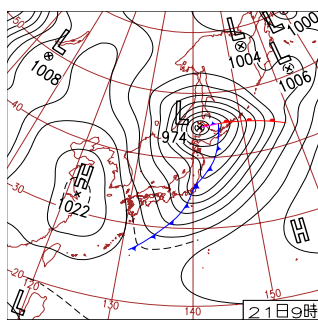
18日(木)桜前線本州へ
 低気圧が本州を東進。九州北部から山陰、近畿で雨。一方、寒気の流入で北日本の日本海側では風雪続く。そのほかは晴れまたは曇り。長崎市、和歌山市、名古屋市でサクラ開花。



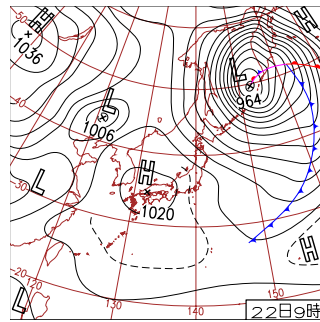
19日(金)日中、全国的に晴れ
 西・東日本の一部では朝まで雨が残ったが、日中は全国的に晴れ。最低気温は平年より低いところもあったが、最高気温は一部4月並の他は概ね平年並。



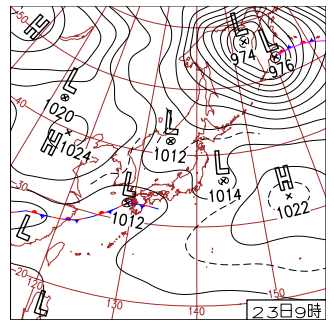
20日(土)汗ばむ陽気
 高気圧周辺部の暖かな南風が入り、最高気温は大分市で29.3℃など、73か所で3月の極値を更新。一方、前線の接近で午後は西から次第に雨や雷雨。九州北部で黄砂。



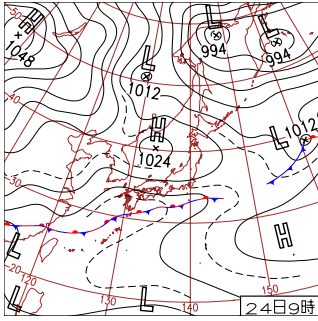
21日(日)北海道や関東で暴風
 発達した低気圧の通過と寒冷前線の南下により広い範囲で暴風や短時間の大雨。千葉市中央区で最大瞬間風速38.1m/s、神奈川県箱根町箱根67.0mm/1h。また、全国で黄砂を観測。



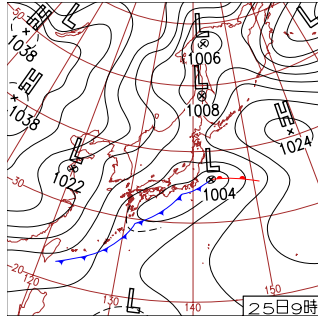
22日(月)東京でサクラ開花
 北日本の一部を除き、移動性高気圧に覆われて、穏やかな晴天広がる。東京、松江市、岡山市、横浜市でサクラ開花。東京都父島で観測開始(1968年)以来初の黄砂。



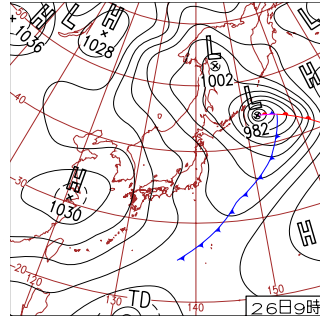
23日(火)世界気象デー
 低気圧が本州南岸を進み、沖縄など一部を除き雨や曇り。暖かな南風が入った沖縄へ奄美の最高気温は4月中旬～6月中旬並。南西諸島や父島で黄砂。鹿児島市でサクラ開花。



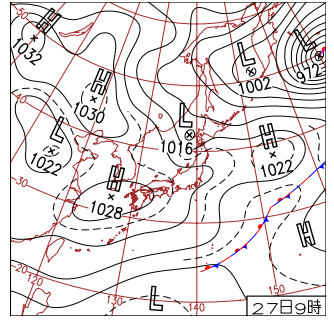
24日(水)台風第1号発生
 本州南岸に前線が停滞し、南西諸島と北日本は概ね晴れたが、その他は曇りや雨。日中は、西～東日本は気温が上がらず一部を除いて最高気温は2月並。津市でサクラ開花。



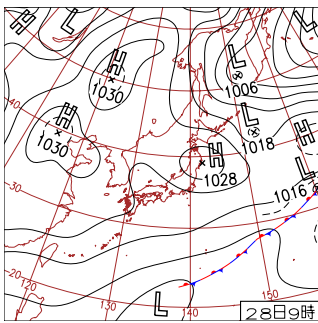
25日(木)花冷え
 南海上の前線や低気圧の影響で、西～北日本の広い範囲で冷たい雨や雪。全国的に気温が低く、最高気温は関東～東北太平洋側で真冬並。鳥取市でサクラ開花、福岡市では満開。



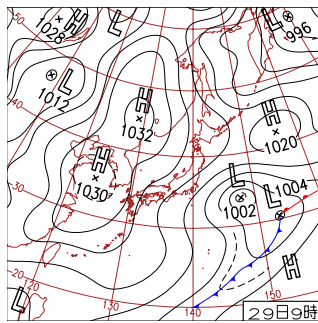
26日(金)台風第1号熱低化
 関東では、北東気流の影響で下層雲がとれず、気圧の谷の通過で各地にわか雨を観測。北陸は寒気が入って最高気温は真冬並。熊本市、静岡市でサクラ満開。台風、熱帯低気圧化。



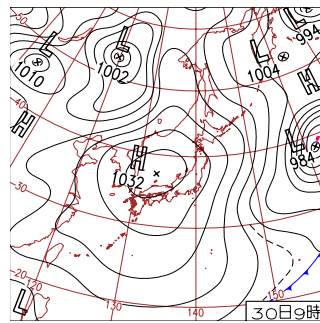
27日(土)北日本は冬の名残
 北海道を低気圧が通過し、東北～北海道に発達した雪雲がかかる。南西諸島～東日本は高気圧に覆われ、広い範囲で晴れ間広がる。舞鶴市でサクラ開花。



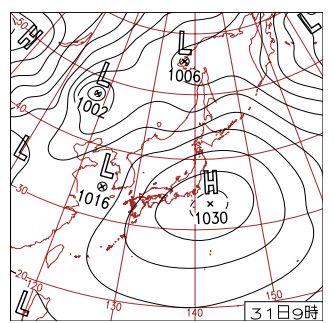
28日(日)関東は真冬並の寒さ
 北日本は高気圧に覆われ概ね晴れの天気。東日本以西は気圧の谷の影響で曇り、日本海側では所々雨。東北太平洋側や関東では、北東風の影響で真冬並の最高気温。



29日(月)静岡県東部等で大雪
 上空の寒気の影響で、列島の広い範囲でわか雨やにわか雪。関東の山沿いや静岡県東部で積雪も。静岡県御殿場市では17cmの積雪。茨城県つくば市上空約5300mで-37.1℃。



30日(火)天気回復 寒さは残る
 高気圧に広く覆われて全国的に乾燥した晴天。日本海側の雪も午前中に止む。放射冷却により朝の冷え込みは厳しく、本州付近の最低気温は軒並み真冬並。



31日(水)気圧の谷が接近
 高気圧の中心が日本の東海上へ移動し、気圧の谷が接近。東北は晴れたが、そのほかの地方は雲が広がり、山陰などでは所々にわか雨。和歌山市、岐阜市、長崎市でサクラ満開。